

**お知らせ**

■同時発表先：鳥取県政記者会、島根県政記者会、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

資料配布日時

令和8年3月2日 14:00

境港 外港昭和南地区国際物流ターミナル 着工式典を開催  
～サプライチェーンの強靱化に向けて～

国土交通省 中国地方整備局及び境港管理組合では、外貿コンテナから国際フィーダーへの利用転換、モーダルシフト需要を受けたコンテナ貨物需要の増加への対応、大型船によるバルク貨物の輸送効率化への対応が可能となるよう、境港外港昭和南地区において国際物流ターミナル（別紙－1参照）の整備を予定しております。

本事業の着工にあたり、以下のとおり着工式典を開催しますのでお知らせします。

- ◆日時：令和8年3月8日（日）11:00～12:00  
（受付 10時00分～）
- ◆場所：夢みなとタワー3階（鳥取県境港市竹内団地255-3）
- ◆内容：別紙－2参照
- ◆主催：国土交通省 中国地方整備局、境港管理組合

※取材をご希望の場合は、下記リンク・QRコードより  
お申し込みください。（申込期限：3月5日（木）17時）  
URL：<https://forms.office.com/r/rU86gB5Sxq?origin=lprLink>



<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所

副 所 長 中川 雅史（なかがわ まさし） TEL：0859-42-3145

企画調整課長 坂本 典之（さかもと のりゆき） TEL：0859-42-3147

境港管理組合

総 務 次 長 大野 一郎（おおの いちろう） TEL：0859-42-3705

工 務 次 長 永田 茂雄（ながた しげお） TEL：0859-42-3707

## 別紙－ 1

### 【事業の目的】

境港外港昭和南地区では、外貿定期コンテナ航路と国際フィーダー航路が就航（韓国航路：週 2 便、韓国・中国航路：週 2 便、国際フィーダー航路：週 1 便 [R 8 年 2 月現在]）しているほか、背後には製紙・木材・リサイクル産業等が立地しており、境港はこれら企業のサプライチェーンを支えています。

しかし、外貿定期コンテナ航路ではスケジュールの乱れが生じやすく滞船が発生しており、国際フィーダー航路の増便が見込まれる中、コンテナ船が 2 隻同時に利用するためには岸壁が不足している状況です。また、金属くず・バイオマス燃料などのバルク貨物の取扱量の更なる増加が見込まれるところ、大型船が係留可能な岸壁が不足している状況です。

こうした課題に対応するため、外港昭和南地区において、新たな岸壁（水深 12m）、ふ頭用地等の整備を予定しております。あわせて、ふ頭用地においても貨物を集約・再編し、貨物需要の増加への対応を図ることとしております。

これにより、外貿コンテナから国際フィーダーへの利用転換、モーダルシフト需要を受けたコンテナ貨物需要の増加への対応、大型船によるバルク貨物の輸送効率化への対応が可能となり、地域の経済活動を支える安定的な輸送網の構築、サプライチェーンの強靱化が図られることとなります。

### 【事業箇所】

鳥取県境港市

### 【事業の概要】

整備施設：岸壁（水深 12m）（耐震）、泊地（水深 12m）、ふ頭用地

事業期間：令和 7 年度～令和 10 年代半ば  
（早期の便益発現を目指す）

総事業費：202 億円



別紙 - 2

## 境港 外港昭和南地区国際物流ターミナル 着工式典

### 式次第

- 一、 開式
- 一、 オープニングセレモニー
- 一、 式辞
- 一、 来賓祝辞
- 一、 来賓紹介
- 一、 祝電披露
- 一、 事業計画説明
- 一、 着工記念セレモニー
- 一、 地元代表挨拶
- 一、 閉式